

# 福島大学 ビックブラックゼミナール

大学生の力を活かした集落計画



# プロジェクト総合タイトル

「藤巻集落プロジェクト

—私たちが藤巻に出会えた奇跡！」

“キーワード”

「藤巻民」を増やそう！

私たちの考えること

坂下雄洋が

語ります！

# 活動内容「藤巻民になる！」

1日目 11/7(土)

「歳の神」(1/14)のための萱刈り

翌年の農作業のための落ち葉拾い

集落内世帯の聞き取り調査

2日目 11/8(日)

赤筋大根掘りと漬物加工

手打ちそば講習会

活動報告会・交流会



萱刈りと  
落ち葉拾い  
(7日)



## 聞き取り調査 (7日)

# 赤筋大根掘り(8日)



# 漬物加工(8日)



これが  
赤すじ大根



# 報告会・交流会(8日)



私たちはこの活動を通して

「藤巻民」

になることができました★

# 藤巻民って、なに？

現在、藤巻に住んでいる方は10人だが、  
何らかの形で藤巻に関わっている方や関心  
を持っている方なども藤巻民として考えた。

# 調査報告①

藤巻民の人数を計算する★

踊る大捜査線

「踊る大捜査線  
藤巻民を捜せ!!!」

喜多方市山都町藤巻に注目せよ!



**ズバリ！**

**藤巻民は・・・**

**1 1 8 4 5 人 !**

ど... どうして! ?



# 計算の方法(例)

例えば・・・

- ・1人の人が1日藤巻に関わった=1人
- ・息子が1日帰省した=1人
- ・喜多方の〇〇さんが缶詰を買った=1人
- ・10人の作業員が1日道路工事をした=10人
- ・1人の住民が365日藤巻で生活した=365人

合計・藤巻民378人となります！

# 調査結果の内訳

藤巻に住んでいる方 3650人

息子さん・娘さん 97人

移動販売に来る方 50人

藤巻開催のグリーンツーリズム参加者 180人

喜多方市役所・山都支所の方 144人

集落支援員の方 122人

缶詰を買っている方 30人

兄弟 206人

ゴミ収集に来る人 62人

郵便配達員 365人

除雪に来る人 30人

除雪車で来る人 30人

県道利用者 3650人

魚釣りの人 750人

山菜採り 750人

氷筍を見に来る人 750人

保健士さん 1人

農協の人 1人

宅急便の人 365人

薬屋さん 12人

工事している人 540人

大学生 60人

合計・藤巻民11845人

サルやクマ、鳥などを加えると**無限大**になります！

藤巻民を

増やそう!!!

**藤巻繁栄イメージ！**

**藤巻住民**

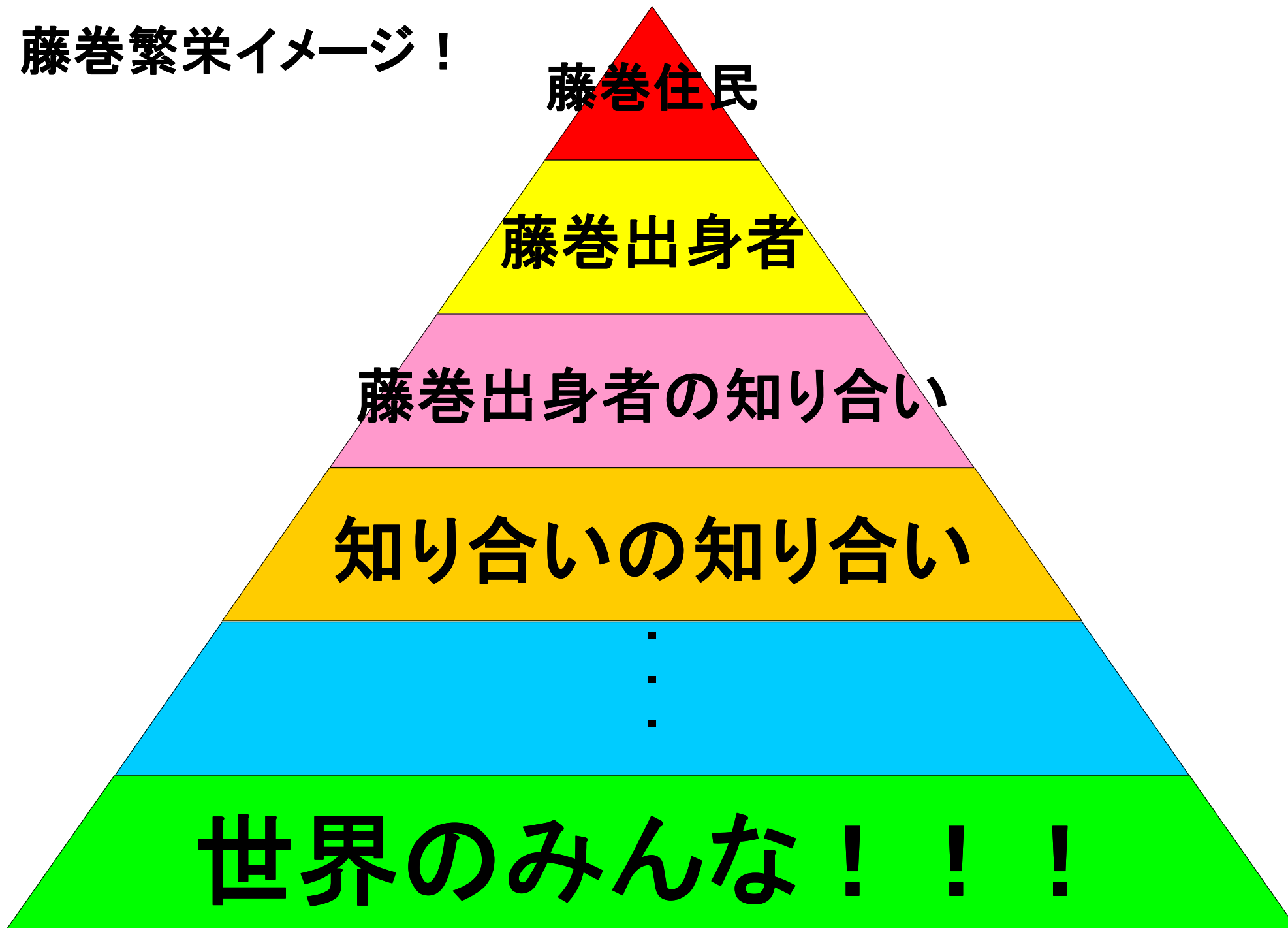
**藤巻出身者**

**藤巻出身者の知り合い**

**知り合いの知り合い**

⋮

**世界のみんな！！！！**



# 調査報告②

「藤巻民」関係図

現在★未来

集落の持つ可能性をひらく

# 藤巻民関係図の作成1

## 関係の<濃度>を表す

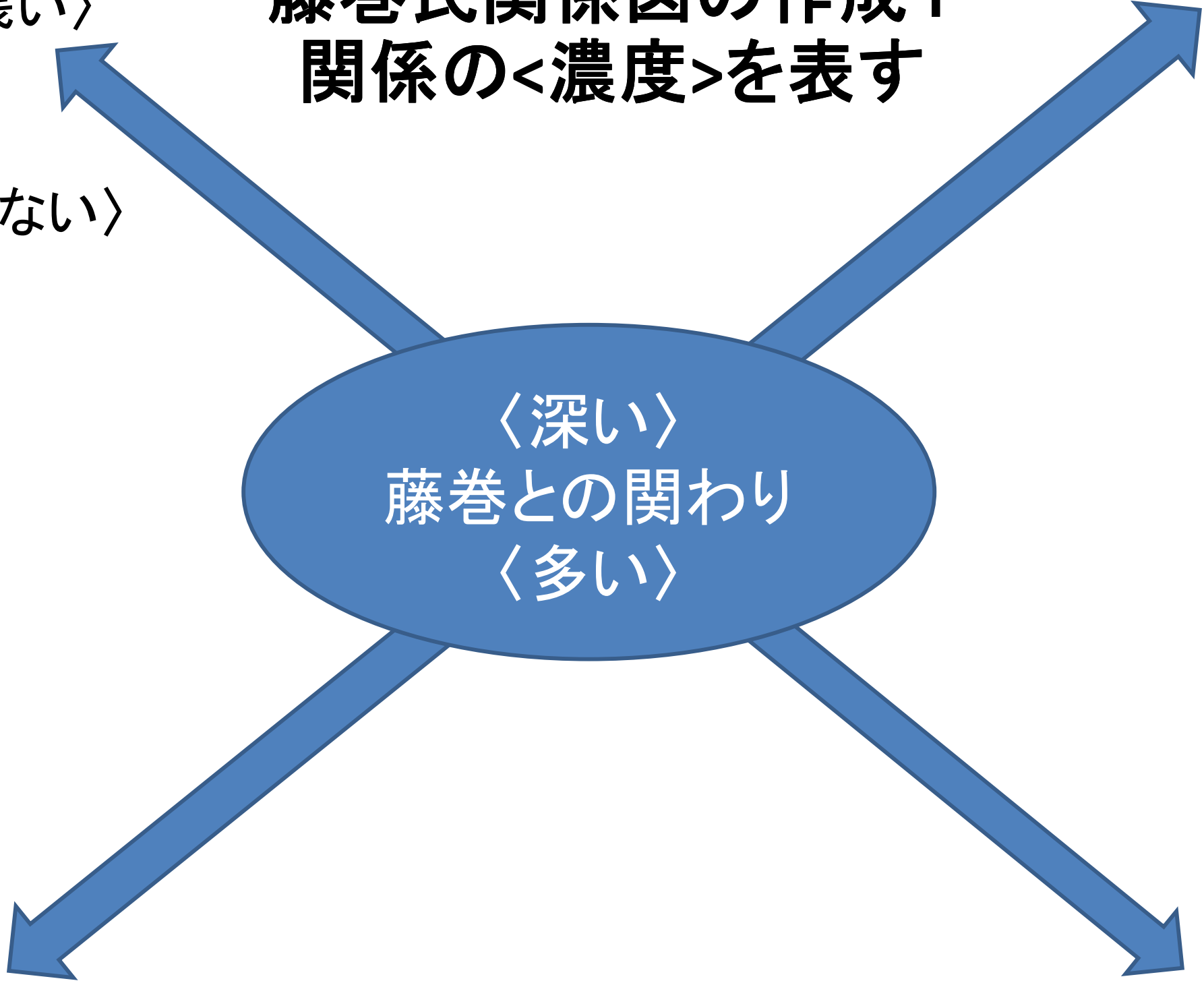
<浅い>

<少ない>

<深い>

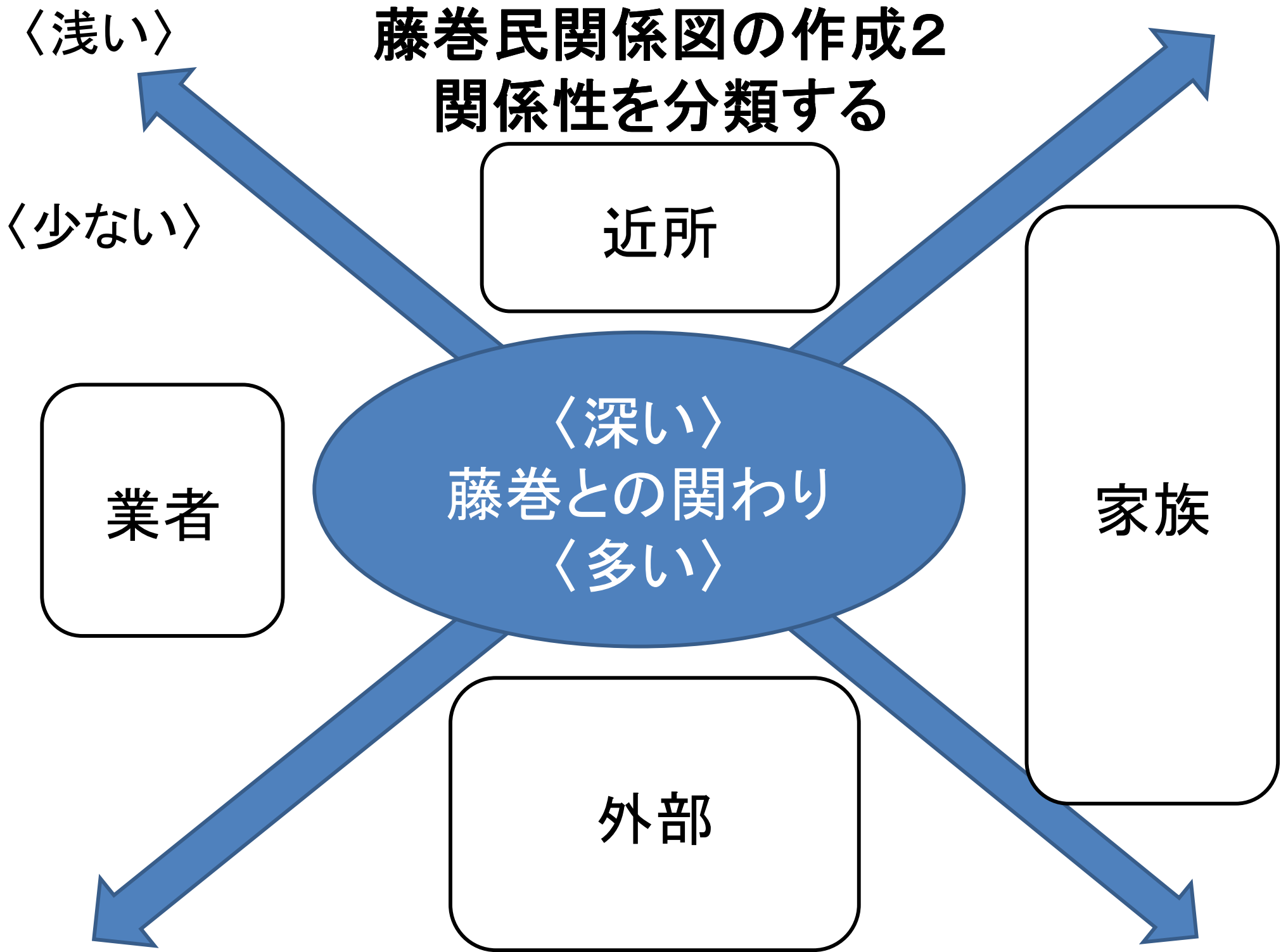
藤巻との関わり

<多い>

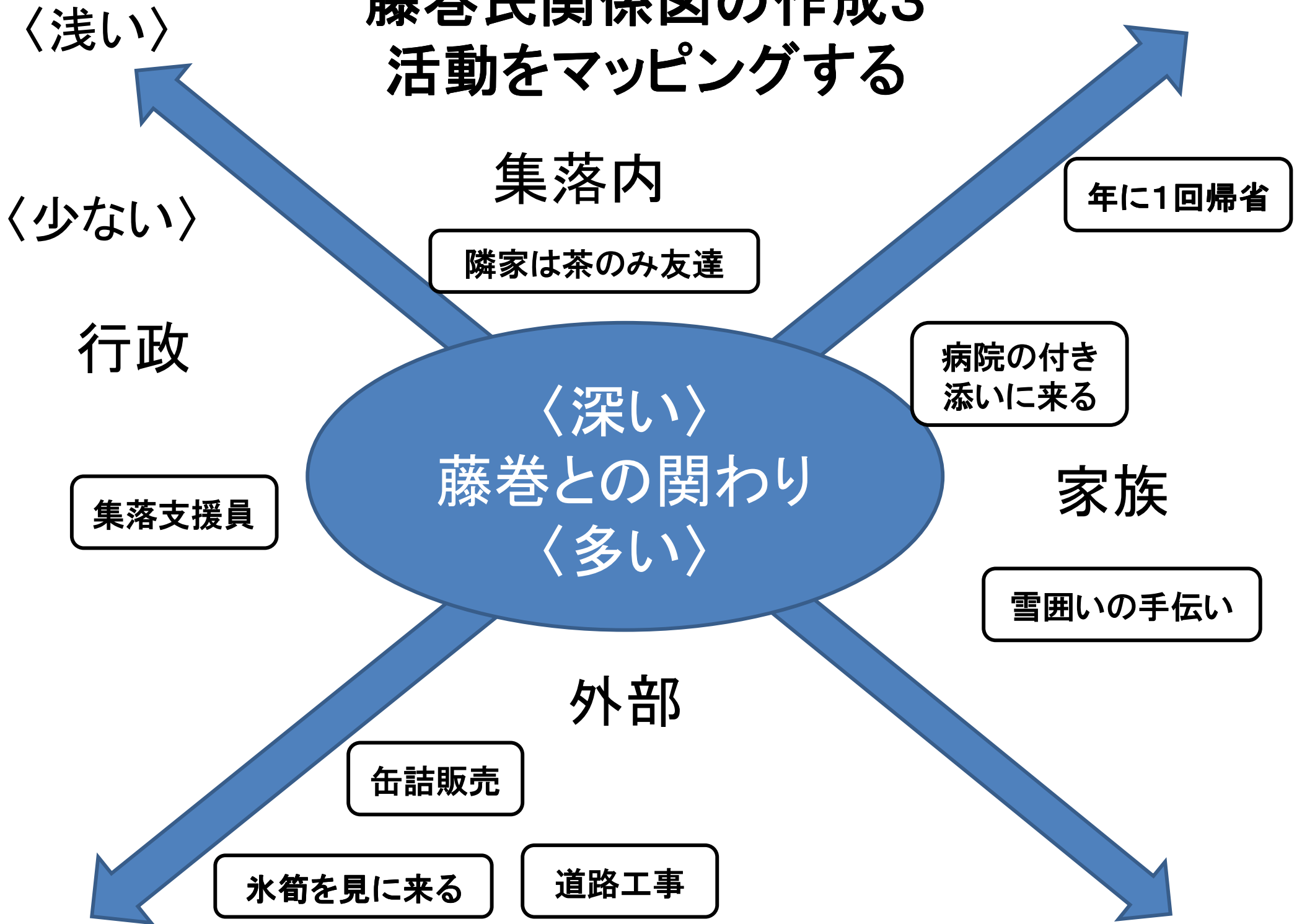




# 藤巻民関係図の作成2 関係性を分類する



# 藤巻民関係図の作成3 活動をマッピングする



# 藤巻民関係図の作成4 将来の方向性

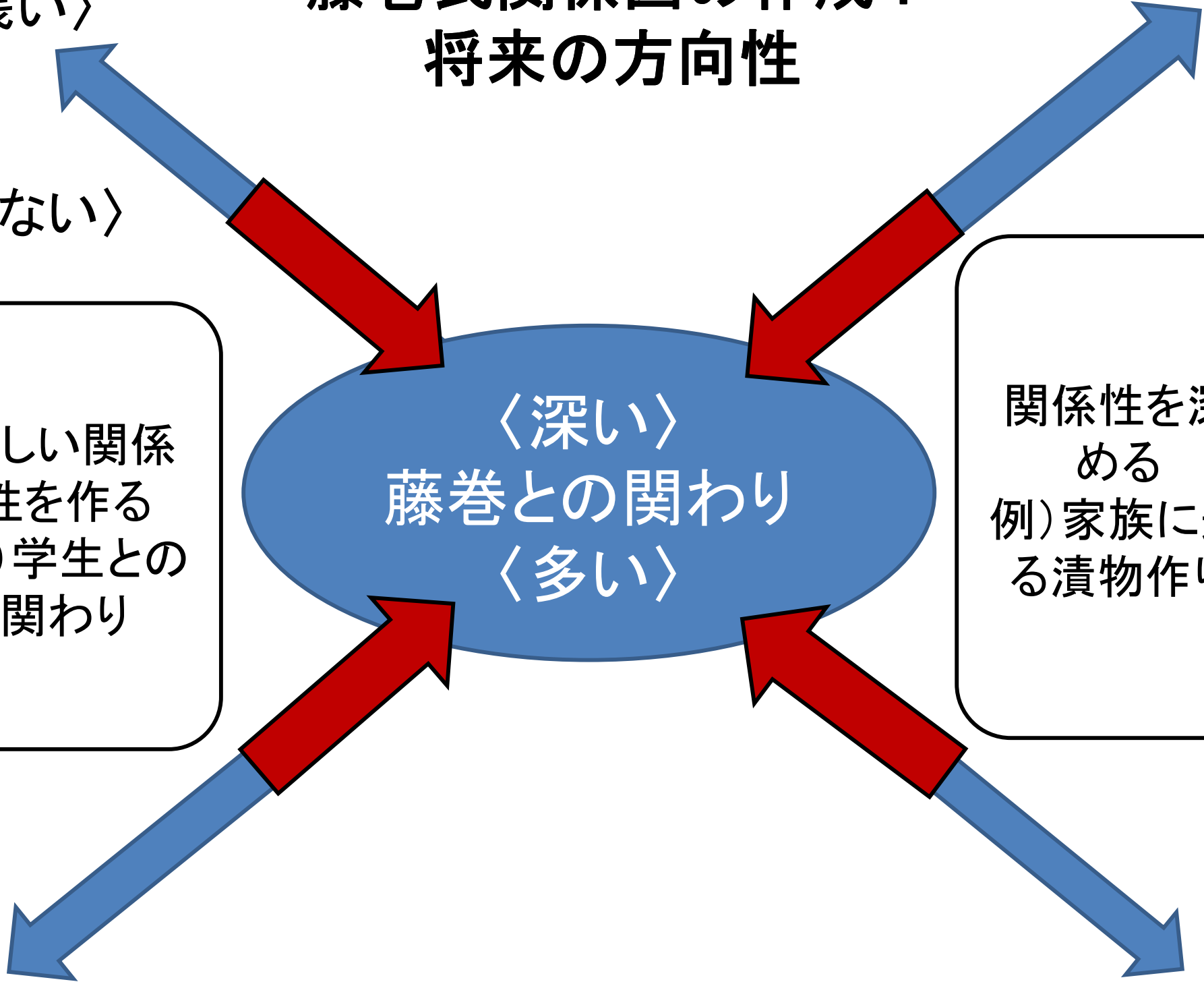
〈浅い〉

〈少ない〉

新しい関係  
性を作る  
例) 学生との  
関わり

〈深い〉  
藤巻との関わり  
〈多い〉

関係性を深  
める  
例) 家族に送  
る漬物作り



# 調査報告③

「藤巻民」を増やし関係を深めるための  
藤巻活性化案

- ファイル①味噌は「藤巻民」を繋ぐ
- ファイル②藤巻ブランドとしての缶詰づくり
- ファイル③若い「藤巻民」を増やそう！

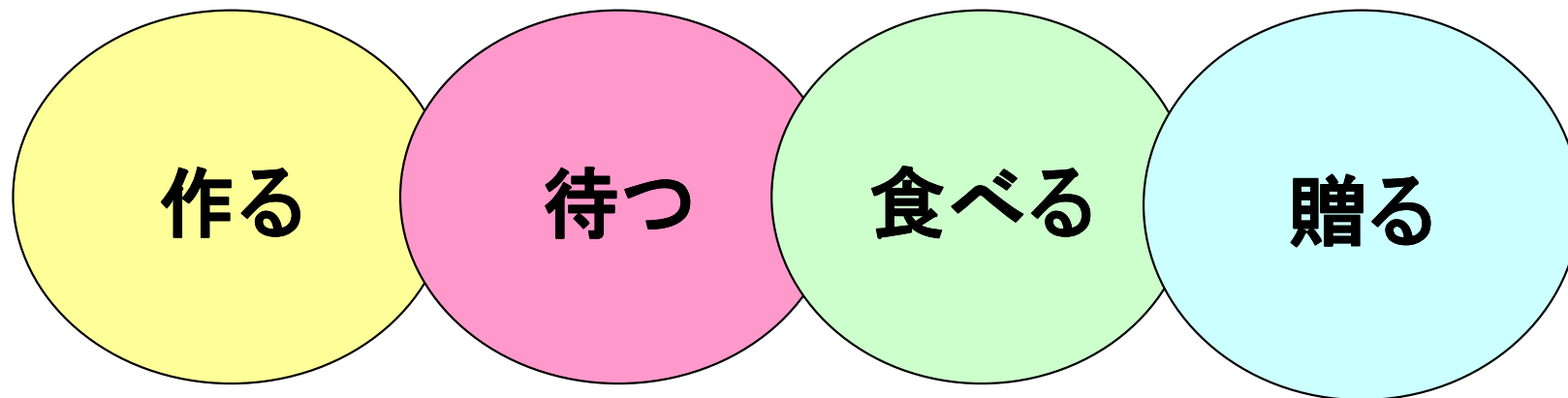
ファイル①



味噌は「藤巻民」を繋ぐ

# ★味噌作りの4つの楽しみ

味噌作りは作るのは大変だが、出来上がるまでに時間がかかるので段階的にある「作る」「待つ」「食べる」「贈る」の4つの楽しみを基にしながら、それぞれの時間を有意義に使い、味噌作りを通じてその楽しみを一つ一つ味わってもらおう



# ★4つの楽しみ

①作る→藤巻民の交流part1

②待つ→藤巻民の交流part2

・味噌レシピを考える・出来上がった味噌を誰に贈るか考える

③食べる→考えたレシピを実際に作った味噌を利用して作る

④贈る→実際に②で考えた相手に添えて味噌を贈る

# ★効果・展望(まとめ)

- 家族と関わるキッカケ作り！
- 楽しみが生まれて元気が出る！
- 長い期間の味噌作りによって深くかかわりをもてる！
- レシピを一緒に考えることによって、その料理を私たちも外に発信することができるし、レシピを渡した家族にも藤巻のことを思い出してもらおう！
- 送られた人は手作りの良さがわかり、一緒に作りたい、他のものも試してみたいという興味が沸き、継続性が生まれる！

味噌を通じて「藤巻民」を増やす！！！！



# ファイル②



# 藤巻ブランドとしての缶詰づくり



# ★缶詰のおもしろいところ

- ・見えない中身へのドキドキ感
- ・開けるという行為のイベント感
- ・中身を目にしての驚愕や納得
- ・味わった後の満足感

単に“缶詰を食べる”という行為の中に、  
これほどの情動が存在している！

# ★藤巻で缶詰をいかす

- ・今ある施設（缶詰工場）を有効活用。
- ・藤巻ブランドとしての缶詰をつくり藤巻を知ってもらおう。  
藤巻に興味を持つ缶詰マニアがいるかもしれない…！
- ・作った缶詰を子供たちや孫に送って、離れて暮らしていても故郷の味を懐かしく思い出してもらおう。
- ・漬物や郷土料理などの楽しい缶詰も作ることができる！

# ★私たちにできること

缶詰一つとっても様々な  
おもしろい企画をたてることができる。



私達にできることは…

- ・新しい缶詰のアイデアを出す！
- ・手作りの藤巻オリジナル缶詰ラベルを  
作ること！

# ファイル③



## 若い「藤巻民」を増やそう

～地域の学校を活かして高校生のいる集落づくり～



集落内に

「高校生のいる**家庭**」を作るとは難しいかもしれない。

しかし、

「高校生のいる**集落**」を作るとはできる！

**どうやって！？**

地域の農業高校と都市部高校との交流企画！

# 地域の農業高校と都市部高校との交流企画！

春の準備：町内高校生による集落内「農地整備」  
＝「そば」にふさわしい土地づくり研究

春～夏の行事：両校交流イベント①

＝藤巻での「そばまき」体験・菜種の種まき体験

ホームステイや都市部高校生の世話は、高校で行う。

春～秋：農業高校は定期的に藤巻での「農作業」を行う＝「学校行事」として

秋の行事：両校交流イベント②

＝藤巻での「そば打ち体験、菜種絞り

都市部高校生の家族も「山都町藤

巻そばまつり」に参加する

藤巻の野菜を利用、菜種油によるて

んぷら、そば打ち体験、藤巻そば



# 効果

## 教育的効果

- ・将来の「地域」を支える若者が地域に関わりを持つきっかけとなる
- ・学校が「地域」全体に支えられ、また地域住民の支持を得られる

## 地域に及ぼす効果

- ・将来の「地域」を支える若者が、集落の現在と将来に関わってくれる
- ・「学校」という地域の安定的な制度に見守られる、長期的な試みが可能となる

## 「藤巻」にとっての意義

高校生のいる集落⇒新しい関係性が生まれる

# 活性化案を通じた 藤巻民関係図 〈将来の方向性〉

〈浅い〉

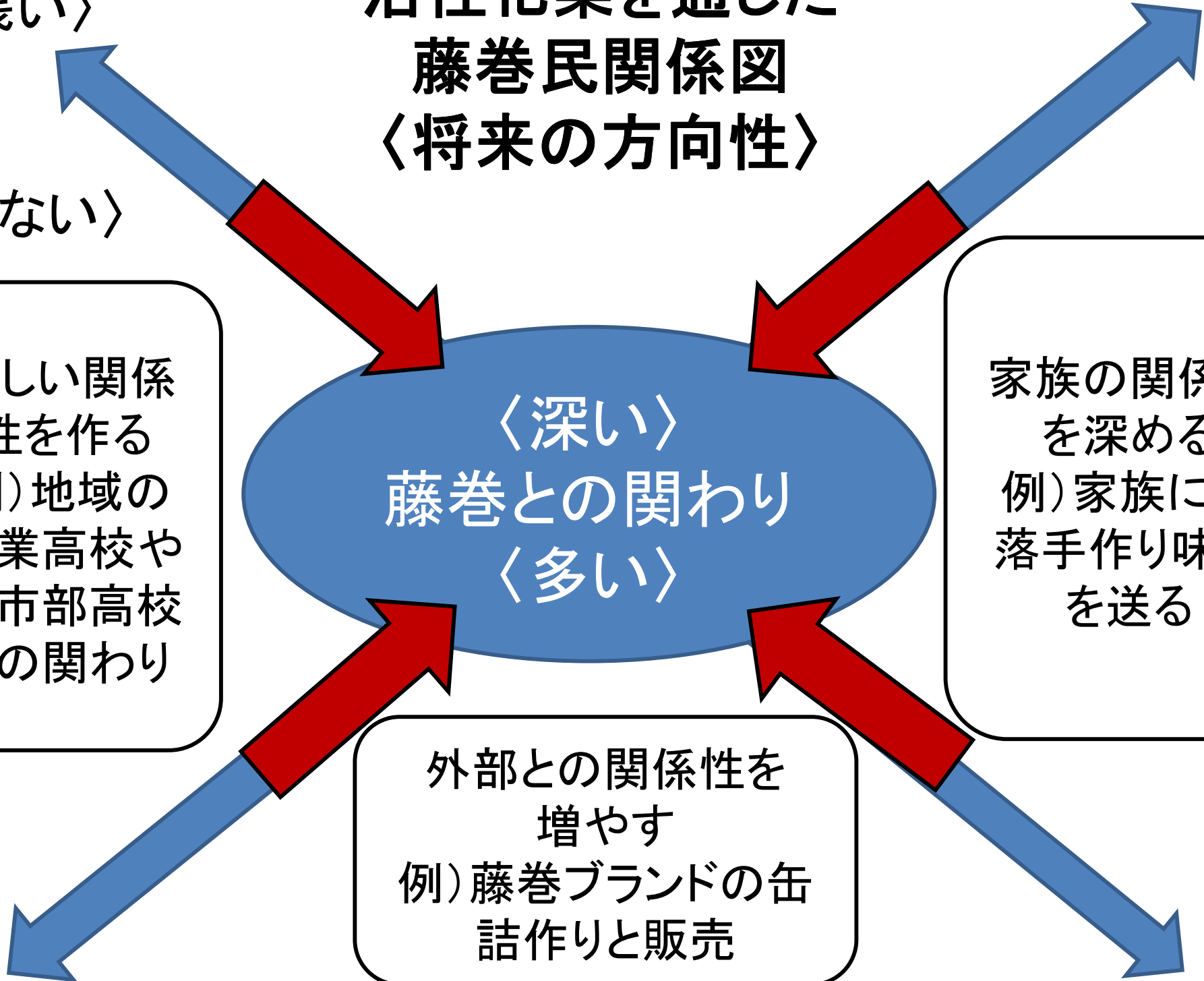
〈少ない〉

新しい関係性を作る  
例) 地域の農業高校や都市部高校との関わり

〈深い〉  
藤巻との関わり  
〈多い〉

家族の関係性を深める  
例) 家族に集落手作り味噌を送る

外部との関係性を増やす  
例) 藤巻ブランドの缶詰作りと販売



ご協力いただいた  
藤巻民の皆さん

ありがとうございました} \ (^o^)/

福島大学  
ビックブラックゼミナール一同